

地層処分に適した場所は 日本にあるの？

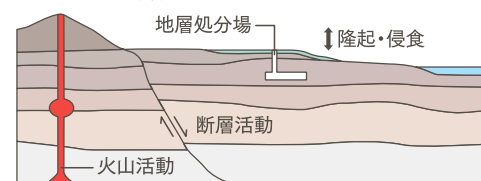
地層処分

これまでの原子力発電の利用で生まれた「高レベル放射性廃棄物」。各国が自国内で「地層処分」することが、国際的な共通認識です。処分地選定を先送りせず、社会全体で考える必要があります。

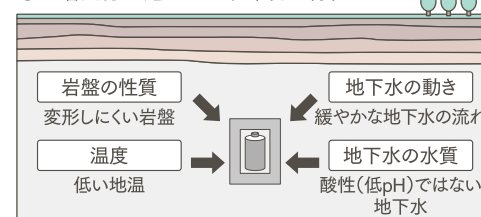
「高レベル放射性廃棄物」の 「地層処分」に適した地下環境とは

「高レベル放射性廃棄物」の「地層処分」は、火山活動や活断層から十分に離れた場所、地盤が安定している場所など、今後定められる安全基準を満たした地域でのみ実施が可能です。国の審議会※において「日本で『地層処分』に

●火山や活断層等を避け安定した場所を選定



●地層処分に適した地下環境の特性



適した地下環境が広く存在する」ことが示され、2017年に科学的特性マップが公表されました。

※総合資源エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会 原子力小委員会 地層処分技術WG 中間とりまとめ(2014年5月)より

多くの地域での調査と、 地質条件等の比較検討を

現在、処分地選定の最初の調査である文献^{すつつちょう・かもえないむら}調査を、北海道寿都町・神恵内村、佐賀県玄海町と南鳥島(東京都小笠原村)で実施※しています。「地層処分」に適した場所を選定するために、さらに多くの地域で地質条件等を比較検討したいと考えています。NUMOは専門的な知識と技術をさらに積み重ね、科学的なデータを集めながら慎重に処分地選定に取り組んでまいります。

※調査の進捗や結果については、地域の皆さまへの説明会や公式ウェブサイトで随時公開しています。

日本中で考えよう。地層処分のこと。

